

安全データシート

作成日：2005年 8月8日
改訂日：2016年6月15日

1. 製品及び会社情報

製品の名称称： ジョアコンパウンド
会社名： 株式会社ショーヨー
住所： 〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-35-6
電話番号： TEL：0422-53-9653 FAX：0422-53-9654
緊急連絡先： TEL：0422-53-9653
メールアドレス： info@shoyo-grp.jp
推奨用途及び使用上の制限： ガラス・鏡等に付いた油膜・水アカ・うろこ落とし

2 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 可燃性固体 外分区
酸化性固体 外分区
健康に対する有害性 急性毒性（経口） 区分できない
発がん性 区分できない
生殖毒性 区分できない
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） 区分できない
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） 区分できない

上記で記載がない危険有害性は、「分類対象外」か「分類できない」。

ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 警告

危険有害性情報： 酸化剤（過酸化水素等）と混合すると酸素を発生し、危険である。
粉じんとしては存在しないが、高濃度の粉じんを吸入すると上気道が過敏になることがある。

注意書き：

【安全対策】

P201-使用前に取扱説明書を入手すること。
P202-すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P234-他の容器に移し替えないこと。
P260-粉じん、煙、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
P264-取扱い後はよく手を洗うこと。
P270-この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
P271-屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P272-汚染された作業衣は作業場から出さないこと
P273-環境への放出を避けること。
P280-保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。 飲み込まないこと。

【応急処置】

P301+P330+P331+P310

－飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P302+P352-皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。

P304+P340+P314

－吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

（常温での蒸気の発生は非常に少なく、吸入による危険性はないが、長時間作業による吸入の場合は適正な処置を取る。）

P305+P351+P338

－眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P312-気分が悪い時は、医師に連絡すること

P333+P313-皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。

P337+P313-眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当てを受けること。

P362+P364-汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

【保管】

P403+P233-換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。

P405-施錠して保管すること。

P102-子供の手の届かないところに置くこと。

酸化剤と同一の場所で保管しないこと。

【廃棄】

P501-内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国/地域情報 データなし

3. 組成、成分情報

物質

製品名： ジョアコンパウンド

別名： 超微粒子研磨剤

化学特性

(化学式又は構造式)：

濃度又は濃度範囲：

成分名	重量%	化学式	官報整理番号	CAS No.
シリカ	15~25	—	既知	社外秘
アルミナ	5~15	—	既知	社外秘
セリウム	—	—	既知	社外秘
保湿剤	—	—	既知	社外秘
増粘剤	—	—	既知	社外秘
分散剤	—	—	既知	社外秘
防カビ剤	—	—	既知	社外秘
水	残部	H ₂ O		7732-18-5
計	100			

分類に寄与する不純物

及び安定化添加物：情報なし

4. 応急措置

飲み込んだ場合：

口をすすぐこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：

皮膚を流水と石鹸で洗い流すこと。皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。

吸入した場合：

常温での蒸気の発生は非常に少なく、吸入による危険性はないが、長時間の作業で吸引して気分が悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移動し、身体を毛布等で覆い保温して安静を保ち必要なら医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合：

直ちに水で数分間、注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状

及び遅発性症状：

情報なし。

最も重要な兆候及び症状：

飲み込むと下痢、嘔吐する可能性がある。

眼に入ると炎症を起こす可能性がある。

皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。

ミストを吸入すると気分が悪くなる可能性がある。

応急措置をする者の保護：

救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項：

安静と医学的な経過観察が不可欠。

5. 火災時の措置

消火剤：

周辺火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。注水可。

使ってはならない消火剤：

霧状の強化液、泡、粉末消火剤、二酸化炭素

特になし。

特有の危険有害性：

情報なし。

特有の消火方法：

火元への燃焼源を断つ。

適切な消火剤を用いて消火する

周囲の設備等に散水して冷却する。

消火を行う者の保護：

消火作業の際は風上から行き、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

保護具及び緊急時措置： 処理に際して、作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、

	眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 関係者以外の立入りを禁止する。
環境に対する注意事項：	環境中に放出してはならない。
回収、中和：	河川、下水道等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 大量の場合：空容器に回収し、その後ウエス等で完全に拭き取る。
封じ込め及び浄化の方法・機材：	情報なし。
二次災害の防止策：	周辺の着火源を取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 皮膚に触れたり、眼に入る可能性がある場合は、保護具を着用する。 炎・火花または高温体との接近を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させないこと。 ミストが発生する場合は、呼吸器具等を使用してミストを吸入しないこと。 容器は必ず密閉すること。
局所排気・全体換気：	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項：	粉末を眼に入れたり、吸入しないように注意すること。
接触回避：	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	
保管条件：	直射日光を避け、容器を密閉して涼しい所、換気の良い場所で保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。	
注意事項：	酸化剤と同一場所に保管しないこと。
混触危険物質：	『10. 安定性及び反応性』を参照。
容器包装材料：	容器に圧力をかけないこと。圧力をかけると割れることがある。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：	未設定。
許容濃度：	データなし (ACGIH 時間加重平均(TWA))
設備対策：	ミスト及び蒸気が発生する場合は、発生源の密閉化または排気装置を設けること。
保護具	
呼吸器の保護具：	通常必要ではないが、必要に応じて適切な呼吸器保護具(有機ガス用防毒マスク等)を着用すること。
手の保護具：	適切な保護手袋(耐油性のもの)を着用すること。
眼の保護具：	適切な眼の保護具を着用すること。 安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。 皮膚及び身体の保護具：適切な顔面用の保護具を着用すること。 一切の接触を防止するにはネオプレン製の、手袋、エプロン、ブーツ、又は全体スーツ等の不浸透性の防具を適宜着用すること。
衛生対策：	取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された衣類は脱ぎ、再使用する場合には洗濯して完全に洗浄すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：	粉末を含むクリーム状の液体（灰白色）
臭い：	特になし
pH：	8.5±0.5
融点・凝固点：	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲：	データなし
引火点：	データなし
爆発範囲：	データなし
蒸気圧：	データなし
蒸気密度（空気 = 1）：	データなし
比重（密度）：	1.2~1.4
溶解度：	水と自由に混合し、懸濁液となる。
オクタノール/水分分配係数：	データなし
自然発火温度：	データなし
分解温度：	データなし
臭いのしきい（閾）値：	データなし
蒸発速度（酢酸ブチル = 1）：	データなし
燃焼性（固体、ガス）：	不燃性
粘度：	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性：	強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件：	ハロゲン類、強酸類、酸化性物質との接触を避ける。
混触危険物質：	情報なし。
危険有害な分解生成物：	情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性：	(経口)：データ不足のため区分できないとした。ラット LD ₅₀ 1000mg/kg(セリウムとして) ラット LD ₅₀ 5000mg/kg(アルミナとして)
	(経皮)：データがないため分類できないとした。
	(吸入)：データがないため分類できないとした。
皮膚腐食性・刺激性：	データがないため分類できないとした。
眼に対する重篤な 損傷・眼刺激性：	
皮膚についてはほとんどないが、眼については一過性の刺激感を示す可能性あり。	
呼吸器感受性：	データがないため分類できないとした。
皮膚感受性：	データがないため分類できないとした。
生殖細胞変異原性：	データがないため分類できないとした。
発がん性：	データ不足のため区分できないとした。
生殖毒性：	データ不足のため区分できないとした。
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)：	データ不足のため区分できないとした。
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)：	データ不足のため区分できないとした。
吸引性呼吸器有害性：	データがないため分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性：	(急性)：データがないため分類できないとした。 (慢性)：データがないため分類できないとした。
残留性・分解性：	情報なし
生物蓄積性：	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が その処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を 委託する。
汚染容器及び包装：	容器は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意国際規制

国際規制	国連分類に該当しないので国連番号なし。規制対象外。
国内規制	
陸上規制情報	労働安全衛生法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
海洋汚染物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れ、摩擦、動揺のないように 積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 重量物を上積みしない。運搬時の積み重ねの高さは3m 以内とする。 酸化剤との混載禁止。 その他の関係法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法：	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) シリカ (政令番号 第312号) アルミナ (政令番号 第189号)
化審法：	非該当
毒物劇物取締法：	非該当
消防法：	非該当
PRTR法：	非該当
船舶安全法：	非該当
航空法：	非該当
- 5 - ジョアコート 研磨	
海洋汚染防止法：	非該当
下水道法：	非該当
水質汚濁防止法：	非該当
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律：	産業廃棄物規制 (拡散、流出の禁止)
パーゼル法：	非該当

16. その他の情報

本製品に関する決定は使用者の責任において行うこと。
ここに記載された情報は当社の最新の知見に基づくものであるが、情報の完全さ、
正確さを保証するものではないので留意すること。
記載された情報は新しい知見に基づき改訂することがある。